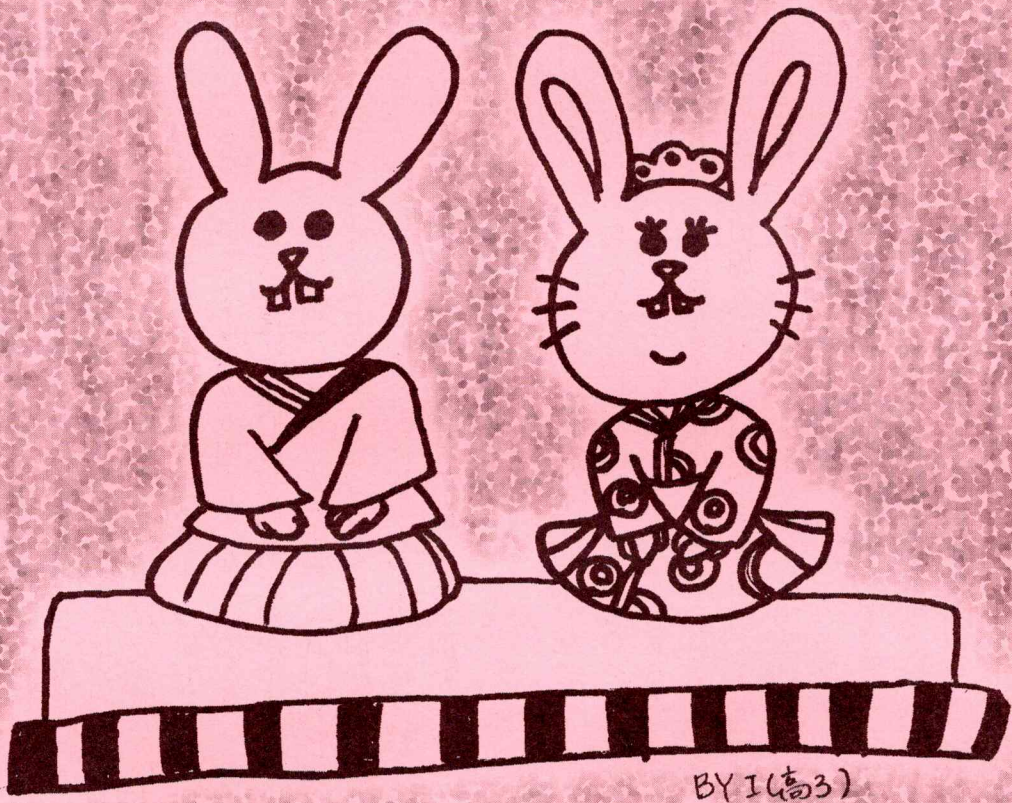


発行 社会福祉法人 聖友ホーム  
聖友乳児院 (乳児院)  
聖友学園 (児童養護施設)

# ぴーちっこ



- コラム ■ 今【絆】を考える ..... 2.3
- オレンジリボン知ってますか? ..... 3
- ふわふわ ■ 『乳児院の楽しい時間!!』 ..... 4.5
- このゆびとまれ ■ 『ボランティアさん紹介』 ..... 6
- 寄付ありがとうございました ..... 7.8

## 今【絆】を考える

まもなく、今年度が終わろうとしています。皆さんにとつてはどんな一年だったでしょうか？今改めて振り返ってみると今年度のテーマの【絆】とは何か、と考へさせられることが多かったように感じます。

まず、夏にあった大阪の小さい二人の子供の命が失われた事件。子どもの養育を担う私達職員にとつても衝撃的なものでした。若い母親の養育帯が原因ですが、なによりショックだったのは、周りの大人は少なくとも子ども達の助けの声を幾度か聞いていたにも関わらず、その命を救うことができなかったということでした。母親ははじめから養育を放棄していたわけではなく、子どもたちを大切に愛情持って育てていた時期もあったと聞きました。なのに、それがどういふ経過を経てこんな結末となってしまったのか、この母親が誰とどんな絆を深めたかかったのか、この親子に絆はあったのか考へずにはい

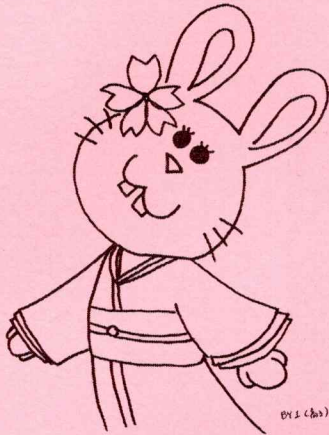
られませんでした。

そして今度はあちこちで明らかになった高齢者の所在不明の問題。江戸時代に生まれた人まで生きていることになっていたということもさるころながら、所在不明でありながら年金を不正受給しているケースが次々明らかになり、ただただ驚くばかりでした。自分の家族が生きているのかどうかでさえ把握しきれていないことや、亡くなっているにも関わらずそれを隠そうとする人もいる現実に今の家族の絆とは何なのかを改めて問われたように感じました。

目には見えないつながり【絆】をどう育んでいくのかは、見えないからこそわかりにくく、もろくもあり強くもあるように感じます。私たち聖友ホームの二つの施設、聖友乳児院と聖友学園で子どもたちの養育をするにあたっても大切なことだと考えています。この二つの施設で連携をとつて行っている取り組みの二つに聖友学園の高校生による聖友乳児院の体験学習があります。毎年夏休みを利用して行っています。

高校生が乳児とふれあうことにより、赤ちゃんとこんなにかかるといふ。なんてやわらかくてかわいいんだろう。あやしたら笑ってくれた。自分にもこんなに小さい時があったんだ。などたくさん気づきがあつて、自立を控えた自身身の小さい頃を振り返るよい機会となっています。中には聖友乳児院から聖友学園に移動して卒園する子もいて、その子にとつては自分の育つた場所を知る貴重な機会でもあるのです。

ですから学園側は積極的に高校生にこの乳児院体験を勧めています。ただ、必ずしも全員が初めから積極的ともいえず、送り出す学園側の職員としてはそれは心配の一言につきるのですが、体験を終えて帰ってきたときの子どもたちの表情は行く前とは全然違つて、皆口々に「行ってよかつた」と話します。学園での生活とは違う乳児院ならではの生活の配慮を知ることとも乳児院の子どもたちとふれあうことも高校生たちにとつてはとても新鮮で【絆】につながる何かを感じ取ってくれているのではないかと思うのです。



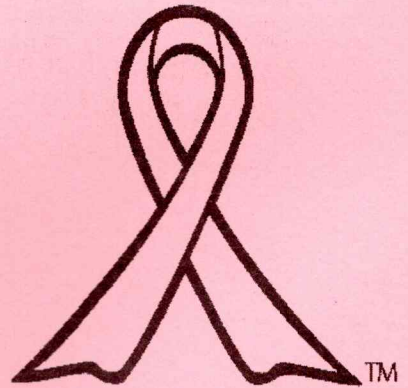
3月には節目の時期、学園でもたくさん  
 の子どもたちが卒園、卒業を迎えます。  
 そして卒業と同時に学園を巣立っていく  
 高校生も数名います。今までと生活が一  
 変し、社会に出て困難に向き合わなけれ  
 ばならないときも必ずくるでしょう。学  
 生から社会人への変化は想像以上に厳し  
 いものかもしれません。今まで育んでき  
 た【絆】を糧に新たな【絆】を新しい世  
 界でも結べるように応援していきたいと  
 思っています。そして私たちも今ある  
 【絆】を深めていけるように努力したい  
 と思います。  
 (びーちっこ編集委員会)

みなさん、このマークをご存知ですか？

色によって意味が違いますが、今回はオレンジ色の  
 リボンについて紹介したいと思います。(紙面の都合  
 でオレンジ色にはできませんでしたが…)

オレンジリボンは児童虐待防止のシンボルマークで  
 あり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を象徴  
 しています。現在、オレンジリボン運動の活動窓口は児童虐待防止全国ネットワークが行  
 っています。私たち聖友ホームもこのオレンジリボン運動を多くの方に知ってもらい、そ  
 の活動の輪が広がるように協力をしています。

<http://www.orangeribbon.jp/>



カレー作り



乳児院では、  
調理さんがお部屋に出向いて  
子どもたちと食事作りを  
楽しんでいます。

んしょ





# 乳児院の楽しい時間!!

クリスマス会



12月12日にクリスマス会をしました。

バルーンアートのボランティアさんがきてくれて、かわいい動物やリースをたくさん作ってくれました。  
もちろんサンタさんもきて、皆にプレゼントを配ってくれましたよ。

ベビーマッサージ



裸ん坊になりマッサージを受けている  
赤ちゃんたちは“うっとり”

おかあさんや職員にとっても  
マッサージを通してお互いに  
“ニコちよくなる”効果がある  
ものだというのを学びました。  
講師は『絆ベビーマッサージ』  
のレス・メイ先生でした。

**このゆび  
とまれ**

聖友学園では年中さんの男の子と小学一年生の女の子が毎年七五三を行っています。今年は男の子4人と女の子1人が参加しました。

今回は七五三のお手伝いをして下さっている、着付けボランティアさん、写真ボランティアさんを紹介します。

着付けボランティアさんに初めての着物で緊張しつつも格好良く、かわいく着付けて頂きます。その後、写真ボランティアさんに子どもたちの晴れ姿を写真に収めて頂いています。

初めての着物で緊張したけれど  
ボランティアさんが  
やさしく着せてくれてうれしかった♪



写真撮影は緊張してしまった  
けれどボランティアさんが  
かっこよく撮ってくれました♪



みんなキマッテいるね♪



♪ ぴーちっこ広場に  
お集まり下さい ♪

「ぴーちっこ」は皆様とたくさんのお話ができる広場になろうとスタートしました。

皆様には「おたより」のかたちで広場に集まっていただき、子どもたちに関する様々な事柄を一緒に考えていきたいと思っています。

皆様からのたくさんのお便りをお待ちしております。下の用紙を切り取って、ご意見、ご感想などお寄せください。

※Eメールの場合は、件名に「ぴーちっこ係」と入れてください。

「ありがとうございました」  
次の皆様よりご協力を頂きました。  
厚く御礼申し上げます。

(平成22年10月～平成22年12月。敬称略)

〈寄付金〉

東和開発株式会社、新渡戸文化幼稚園、  
上野陽一、株式会社タイスケ、東洋ライ  
フサービス株式会社、中島和代、有限会  
社イルルコーポレーション、株式会社  
美鈴社、陸川眞澄、柳本明子

〈寄贈物品〉

門司一徹、伊藤誠祥、吉田貴幸、星川まさみ、  
松井義弘、榊原裕子、牛島忍(次頁へ)

のりづけ

のりづけ

のりづけ

※今後継続して「ぴーちっこ」の送付を希望されますか？ ・はい ・いいえ

ご住所

TEL

お名前

FAX

おる

〈寄贈物品〉

川田かおり、佐藤幸子、鶴木大輔、西浦輝浩、原路理、山田純子、株式会社ウイーヴ、株式会社北村製作所、株式会社メリーチョコレートカムパニー、社団法人東京馬主協会、信和アルコール産業株式会社、セカンドハーベストジャパン、全国シヤンメリー協同組合、毎日新聞東京社会事業団、東京第三友の会、東洋ライフサービス株式会社、中央花壇、新渡戸文化幼稚園、日本鏡餅組合、日本出版販売株式会社、ほっともつと、ヤマザキ製パン従業員組合、ワールドメイト、JXホールディングス株式会社、日本トイザラス株式会社

〈バースデーフレンド〉

上田和子、嵯峨久美子、佐藤美彌子、原あやこ、細田晴美、武村明子

〈招待〉

普天間かおりコンサート(株式会社エスパルプロモーション)、マッスルミュージカル(株式会社デジタルナイン)、食事(大吉)、サッカー観戦(FC東京)

● 編集後記 ●

今、世間では『タイガーマスク』と名乗る方が子どもに関する施設に寄付をしているというニュースでにぎわっています。聖友ホームにもランドセル、本などを寄付していただきました。

ぴーちっこ編集委員一同

1 6 6 - 8 7 9 0

料金受取人払

杉並支店  
承認

4119

差出有効期間  
平成24年1月  
9日まで  
(切手不要)

東京都杉並区阿佐谷北 3-28-19

聖友ホーム「ぴーちっこ」係 行



See you next!

